

地域産業・経済の発展に不可欠な東予港の早期整備を

東予港湾整備促進期成同盟会の総会が6月24日に開催され、当地域の産業や経済の発展と、市民の安全確保に必要不可欠な東予港（西条地区）防波堤整備の早期事業着手に向け、国の理解をいっそう求めていくことなどが確認されました。



総会に続き開催された講演会

また、総会に引き続き、四国地方整備局の西本次長から「最近の港湾行政の動向」について報告があり、日本港湾協会の樋口企画部長からは「港」の必要性や重要性に関する講演が行われました。

6/24 自分たちのまちは自分たちで守る! 「水防訓練」

市では消防職団員および関係機関の水防意識の高揚と水防技術向上の目的で、梅雨から台風シーズンへと移行するこの時期に、水防訓練を実施しています。訓練では400袋の土のう作成や積み土のう工法、木流し工法を行いました。多くの見学者が見守る中、消防団の皆さんは真剣な表情で懸命に取り組んでいました。



毎年の訓練により向上する水防技術

トップアスリートをめざして!



四国女子アマチュアゴルフ選手権で5位入賞し、日本女子アマチュアゴルフ選手権への出場を果たした、丹萌乃さん(西条西中2年)が市役所を訪れ、日々の練習や選手権の様子などを話してくれました。18歳以下のジュニア選手が日本選手権に出場するのは県内初の快挙で、市の「スポーツ敢闘賞」が贈られました。

7/4 まちの環境美化のために光る汗



皆さんの力によってまちが美しく

水質保全区域に指定している西条地区の4水系(新川、新町川、御舟川、馬淵川・サラサラ川)で一斉清掃が行われました。

時折小雨の降る天候となりましたが、周辺住民や市内企業の皆さんなど1,700人余りの参加により、約45トンものごみ等を回収することができました。

電気自動車でうちぬきクリーンラリーを実施



電気自動車は参加者の移動などに活躍

このたび四国電力株西条営業所に、クリーンで環境に優しい電気自動車を導入されたことから、市内のうちぬきスポットやアクアトピア水系で清掃作業が実施されました。この活動には、市役所の電気自動車も参加し、水あかがきれいに落とされた水くみ場を利用した方からは、気持ちよく使うことができましたと、笑顔をいただきました。

まちのわだい Camera Spot



6/27 全国から寄せられた感動の手紙が西条に



手紙の原作者と新井満氏との対談

朝日新聞社からの「千の風になったあなたへ贈る手紙」の作品原書寄託記念イベントである「千の風物語」が総合文化会館で開催されました。

当日は、一般公募による感動的な手紙の朗読が披露されたほか、作家の新井満氏と朝日新聞社編集委員の一色清氏をゲストにお迎えし、亡き人への手紙を通じて命の大切さを考えるシンポジウムが行われました。

涙する来場者も多く、深い感動と元気をもらえたとの声が聞かれました。



7/3 西条図書館来館者が50万人突破!



昨年の6月1日にオープンした西条図書館の来館者が、開館から13カ月余りで50万人を達成しました。

突然、記念セレモニーの主人公となったのは、市内福武の成高有亮くん(5歳)で、始めは緊張した

表情でしたが、認定書や記念品を受け取る笑顔を見せ、父親の久豊さん、姉の早紀さんとともに、記念写真に収まってくれました。今後もいっそうの図書館利用をお待ちしています。

相互理解と友好促進による国際交流

丹原地区の小学5・6年生21人と、外国語指導助手(ALT)4人による1日英語キャンプが、6月19日に丹原公民館で開催されました。このキャンプは子どもたちとの交流をより深めようと、ALTが企画・立案したもので、参加者は英語ゲームやクッキー作りなどで英語づけの1日を楽しんでいました。

また、7月2・3日には「ギリシャってこんなにおもしろい」と題した国際理解講座が開催され、ギリシャの歴史や文化などを学ぶ講演会と、ギリシャ講師による西条市特産の絹かわなすを使ったギリシャ料理教室が行われました。参加者は青いエーゲ海と白い街並みだけではないギリシャの魅力に夢中になっていました。



元気いっぱい英語キャンプ



ギリシャへの理解を深めた講演